



2019 年 10 月 15 日
三豊市
ダイハツ工業株式会社

三豊市とダイハツ工業、

福祉介護領域における次世代モビリティサービスに関する連携協定を締結

三豊市およびダイハツ工業株式会社（本社：大阪府池田市/以下、ダイハツ）は、福祉介護領域における次世代モビリティサービスに関する連携協定を、2019 年 10 月 15 日に締結しました。

■連携協定の概要

1. 目的

福祉介護領域において AI（人工知能）や IoT など先端技術を活用した次世代運行サービス（福祉介護型 MaaS）によって地域課題を解決し、福祉介護事業が持続できる環境を構築することで、事業に関わる方々の負担を軽減するとともに高齢者等がいつまでも自分らしく豊かに日常生活を送ることができるまちづくりを推進すること

2. 連携事項

- (1) 福祉介護領域における移動関連業務の効率化を狙いとした実態調査や、合理化に向けた検討に関すること
- (2) 高齢者の生活移動支援等の新たなサービス施策の検討に関すること
- (3) 両者が協議し合意したこと
- (4) 前各項に係わる情報発信に関すること

三豊市とダイハツは、この連携協定に基づき、モビリティサービスの高度化の検討に取り組んでいきます。まず、両者はダイハツが有する福祉介護の移動に関するノウハウをもとに、地域課題の解決策の検証を行い、地域の需要に最適化した福祉介護型 MaaS の検討および様々なサービスの実現を目指します。

【本件に関するお問い合わせ先】

三豊市政策部地域戦略課 Tel：0875-73-3011 E-mail：chiiki@city.mitoyo.lg.jp
ダイハツ工業株式会社 広報・渉外室 Tel: (大阪) 072-754-3047 (東京) 03-4231-8854

三豊市が考える将来の福祉介護事業の方向性とビジョン

～三豊市とダイハツ工業が連携し検討を進める内容～

三豊市第2次総合計画

基本方針

- ①市民が可能性を切り開くまちづくり
- ②効率的で健全な行財政運営

今回対象となる 重点プロジェクト

[基本目標③]
健康・福祉・医療における高齢者
福祉の移動(交通)環境の整備

新たな技術・仕組み

次世代移動サービス(MaaS)
等の先端技術を導入し
介護事業者及び
高齢者の“移動”における
経済合理性を高め、
“One MITOYO”で
高齢者を支える。

plus

福祉介護事業におけるビジョン

福祉介護事業の持続を通じて、
高齢者及び家族がいつまでも自分らしく
“みとよ”で日常生活を送り続けることができるまちをつくる